

令和 7 年第 3 回(定例会)
厚真町教育委員会会議録

1 開会

令和 7 年 2 月 2 5 日（火） 1 3 時 0 0 分

2 閉会

令和 7 年 2 月 2 5 日（火） 1 5 時 0 0 分

3 出席委員の氏名

遠藤 秀明 長門 茂明 金光 えり（14 時 15 分から出席） 池川 徹
日西 大介

4 委員及び傍聴人以外の会議出席者氏名

生涯学習課長 阿部 雄史
生涯学習課参事 乾 哲也

5 会議録署名委員の指名

（ 長門 茂明 ）

（ 日西 大介 ）

6 教育長報告

（ 1 ） 行事参加等の動向 （資料 1）

（ 2 ） 教育行政執行方針について （資料 2）

（ 3 ） 令和 7 年度教育費予算案 （資料 3）

【質疑】

教育長 ：あつまリンピックを 8 月 3 0 日にすると、他のイベントとの関係は。

乾参事 ：マナビィカレンダー等を確認しても去年は予定が入っていない。

池川委員：こぶしの湯感謝祭があるかもしれない。商工会がスタンプ会の事務局をしているので、商工会に聞いた方が良いのでは。

乾参事：承知した。

教育長：バリアフリー関係で3億円の減額であるが、エアコンはその前の話か。

阿部課長：エアコンは令和5年度の予算である。

教育長：社会教育のアイヌ歴史文化センター整備事業で、1千万円増額しているのは基本設計費用か。

乾参事：大きな費用としては、アニメ制作の委託事業約800万円が新規で計上しており、アイヌ政策推進交付金関係の増額である。

7 所管報告

<学校教育グループ・学校給食センター>

(1) 2月校長会議・教頭会議について (資料4)

(2) 令和6年度第5回厚真町教育研究所運営委員会／2月19日(水)
／総合福祉センター (資料5)

(3) 生徒指導に関わる報告①② (当日配布)

【質疑】

池川委員：いじめに対しての保護者説明は、文章全体を見せて話したのか。

阿部課長：基本的には全部読み上げて、質疑を行った。

<社会教育グループ>

(1) 第44回厚真町スケート記録会／1月25日(土)／町民スケートリンク／小学生32人、中学生2人参加(令和5年度：小学生32人、中学生2人参加)

(2) 小学校3年生社会科授業「昔の道具しらべ」／軽舞遺跡調査整理事務所／中央小：2月14日(金)28人／上厚真小：2月12日(水)13人、保護者4人

(3) 第28回室内ソフトボール大会／2月12日(水)・13日(木)

／スタードーム／生涯学習だより、町 HP のほか各自治会へ周知、定員 12 チームで 5 チーム 100 人参加（令和 5 年度：7 チーム 120 人参加）

（４）読書感想文コンクール表彰式／2 月 15 日（土）／総合福祉センター／児童 13 人参加（前回令和 5 年度 13 人参加）／大賞 1 点、最優秀賞 4 点、優秀賞 8 点、計 13 点／応募数小学校 2 校／応募作品数 17 点（令和 5 年度：20 点）

（５）厚真未来カレッジ／2 月 16 日（日）／総合福祉センター／チラシの全戸配布、町 HP、LINE、ポスターにて周知／講師：シンガーソングライター KOKONA 氏／参加者 21 人

【質疑】

池川委員：読書感想文の対象学年は何年生から何年生までか。

乾参事：1 年生から 6 年生までである。

池川委員：1 年生から 6 年生までで 13 人の賞なのか。

乾参事：2 年前までは冬休みの全学年対象だったが、昨年からは希望制にしてこの人数となっている。

池川委員：継続事業を消化することよりも、どこかで継続の見極めも必要。少ないのであれば、もう少し応募してもらえるような工夫を付け加えて継続事業化していかないと、ただ消化している事業になりかねない。

乾参事：厚真町読書推進計画もあり、主だった事業の一つであるため、内部で工夫を考えて、今後作品数が増えるようにしたい。

池川委員：図書機能の建物としているが、本を見る、読む機会が今後どのようなかを含めて、一度立ち止まって考えてみる機会を設けた方が良いのではないか。

乾参事：確かに通常一般の事業計画であれば見直し、もしくは廃止の対象になるが、教育委員会や町全体の計画もあるので、その中でもう一度詳細な検討をしたい。

教育長：規模が小さくなっている現状で、これから読書、感想文をどうするか、地域、学校を含めて考えなければいけない。

池川委員：町の感想文コンクール参加によって、胆振管内や道内のコンクールにそのまま連動するという方法にならないのか。

乾参事：作品の応募や上位コンクールがどのようなタイミングなのかを含めて、調べないといけない。

教育長：令和7年度は読書推進計画事業改定時期のため、今後10年計画で図書機能のハード機能整備も提示されるため、本件についても合わせて考えて欲しい。

乾参事：グループ内で司書を含めて相談する。

池川委員：社会教育グループの事業が多いので、統廃合を含んだ事業の精査をした方が良い。

教育長：現在は、これまでの事業と新たな分野に取り組んでいる中で、裾野を広げている段階。これからは町民が参加し、活動しやすい取り組みが必要と考える。

乾参事：担当からは各事業の満足度が高いという報告を受けているので、参加人数は再検討の材料として確認しているところである。

教育長：各担当が熱意をもって行っているので、満足度が高いのは理解できるが、それでも事業について端的に確認する必要がある。内部だけではなく、悩んでいる事業も含めて外部評価の意見を活かすことも必要だと思う。

8 議案

厚真町育英資金貸付条例施行規則の一部改正について（資料6）

【質疑】

教育長：期間を撤廃するという選択肢はあったのか。

阿部課長：撤廃する選択肢もあったが、条例改正を要する案件で、育英資金条例内容を考えると、他に波及するところがあるため、基本的な内容は変更せず、今回は期間を5年にするという判断に至

っている。

教育長：成績優秀者が対象となっているが、そうでない人は当てはまらない条例になっている。

厚真町にある奨学制度は成績優秀者にこだわっていないことから、成績優秀者対象の見直しも必要と感じている。今回は条例上の制約から、3年から5年に変更したことについてはしっかり周知して欲しい。

日西委員：3年から5年に変わって親の収入を見る基準は同じ時期か。

教育長：申請があった時と同じ時期である。

9 協議

(1) 令和7年度教育委員会の不登校対策について (資料7)

(2) 厚真町生活会館条例の一部改正について (資料8)

【質疑】

教育長：不登校対策において令和7年度は試行を重ね、令和8年度からは正式に教育支援センターを立ち上げるということか。

阿部課長：そうである。

池川委員：年度累計日数だと、不登校対象にならない児童もいるが大丈夫か。

阿部課長：日数で区切るという考えではなく、総合的に判断して早期発見し、不登校対策の推進につなげたい。

池川委員：欠席日数についてはどうするのか。

阿部課長：原則という形になると思われる。

教育長：本対策は、不登校につながらないための支援が前提であるが、悩んでいるような場合はそれを支えるセンター的な機能をもたせる流れである。

阿部課長：原則の日数など一定の基準を設けるが、日数に縛られず学校と連携して対応できる内容としていきたい。

池川委員：生活会館の上限金額だと、1日借りたらかなりの金額になるので

はないか。

教育長：あくまでも上限金額なので、各自治会の判断になる。

10 その他

(1) 入学式・卒業式の出席委員について

< 卒業式 >

月	日	曜日	時間	学 校 名	出席者	備考
3	1	土	11:00	厚真高等学校	教育長	
	8	土	9:00	厚南中学校	教育長	
			9:10	厚真中学校	池川委員	
	19	水	9:10	厚真中央小学校	日西委員	
			10:00	上厚真小学校	教育長	

< 入学式 >

月	日	曜日	時間	学 校 名	出席者	備考
4	8	火	10:00	厚真中央小学校	教育長	
			10:00	上厚真小学校	長門職務代理	
			13:00	厚真高等学校	教育長	
			13:30	厚真中学校	日西委員	
			13:30	厚南中学校	金光委員	

※教育長メッセージをしおりに掲載予定。

(2) 学校給食費の改訂予定について

(3) 転入教職員歓迎式 4月4日(金) 午後2時30分(予定)

【質疑】

池川委員：新年度の食材費はどのくらい増額しているのか。

阿部課長：14パーセントくらい増額を予定している。

11 次回委員会の開催日程

・臨時会 3月 3日(月) 午後5時00分(予定)

※教職員人事の内申について

・ 定例会 3 月 2 7 日（木） 午後 2 時 3 0 分（予定）

1 2 閉会

厚真町教育委員会会議規則第18条の規定により署名する

令和 年 月 日

教育長

令和 年 月 日

署名委員

令和 年 月 日

署名委員

令和 年 月 日

生涯学習課長（調製）